

お花の栽培シリーズ「バラ」

2008年1月	睦月(むつき)・正月(しょうがつ)・初陽(しよよう)・年初月(ねんしよげつ)・太郎月(たろうづき)・祝月(いわいづき)	●花作りの今年1年間の計画をたてましよう
---------	---	----------------------

●今年はずいぶん育ててみたい新しい植物はありませんか？ 参考書やカタログなどで知識や情報を仕込み、あれこれ考えをめぐらすのは楽しいものです。暖かくなると忙しくなるので、寒いうちに理想の庭に仕上げるために、じっくりと考えたいものです。

庭木の作業	・休眠の時期なので植え替えは不適當。枯れ枝や病気の枝を切り、害虫の卵やサナギなどを見つけたらとります。
-------	---

草花の作業	・根が十分に張っていない苗などは、霜によって持ち上げられ、乾燥して枯れる心配があるので、株の周りを踏みつけ、必要ならば霜よけや防寒を十分にして守ります。
-------	--

今月の誕生花	オンシジウム・ツバキ・エリカ
--------	----------------

今月の花	サザンカ 花言葉 / 博愛、孤独、裏切
------	------------------------

日本には 大正時代に、多くの種類が輸入されました。しかし、気候が合わないのか 結局定着したのは ジャノメエリカなど、ほんの数種だけでした。

昔、スコットランドの先住民 ピクト人とキリスト教徒が 戦った時に、ピクト人が敗れてピクト人の ビール職人の親子が 捕まってしまいました。

ケネス王は、ヒースビールの作り方を教えれば 命はないといって、教えることを強要しましたが ふたりとも 口を開きません。

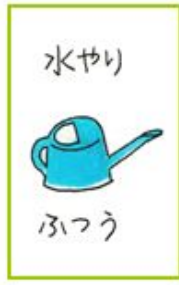
待ちきれなくなった王は、父親の目の前で 息子を殺して 父親に口を割らせようとしたのですが、かえって憎しみをかいとうとうその秘伝は わからずじまいになってしまったそうです。

スコットランドでは、エリカの茂る荒野が多くあります。そんな荒野は「ヒース」と呼ばれ、詩や小説の舞台になることが多かったようです。花言葉の『孤独』は、そんな吹きすさぶ 荒野のイメージから生まれたのでしょうか。



原産地は南アフリカおよび地中海。ツツジ科エリカ属の常緑小低木。草丈は20cm～3m。開花時期は6～7月、10月～11月、1月～3月。最盛期は12～1、2月。葉の形状は、小さい針葉が密生。花持ちは10日程度。花色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、白、緑、その他、複色。英名ヒース(Heath)。別名蛇の目(じよのめ)、紅(べに)エリカ、栄寿(えいじゆ)、ハイデ(heide)

葉が落ちやすく枝が折れやすいので、ラッピング時には、取り扱いに注意しましょう。



バラは、美の象徴として人気があります。株を購入するときには、間伸びしていない、がっちりしたものを選ぶことが大切です。茎が太くて節間が詰まっているものを選びます。バラの栽培は、日当たりが良いことが絶対条件。日当たりと水はけがよい肥沃な粘質土に、植え穴を大きめに掘り、完熟堆肥や腐葉土、鶏フンなどをすき込んで、やや高めに植えつけます。植え付け後は敷きワラで乾燥を防ぎます。新梢の先に花をつけますから、花をたくさん咲かせるためには、冬季に剪定しておくことが大切です。剪定は、株を全体の3分の2くらい切り詰めます。かならず、株の外側を向いている芽の真上で、角度をつけ切るようにします。バラはたいへん手間のかかる草花で、病害虫にも冒されやすいのが欠点です。まず予防に努め、発生を少しでも早く発見し、早期駆除に努めることが大切です。病気や害虫が発生したときには、ただちにその部分を取り除きます。病気の場合、病原菌が残って再発することがありますから、消毒剤を散布しておきます。また、冬の間、株のまわりをよく清掃、消毒して、予防に努めます。枯れ枝や落ち葉を焼き、石灰硫黄合剤などをまいておきます。株や枝の密集を防ぎ、風通しをよくしておくことも必要です。



● 植えつけのやり方



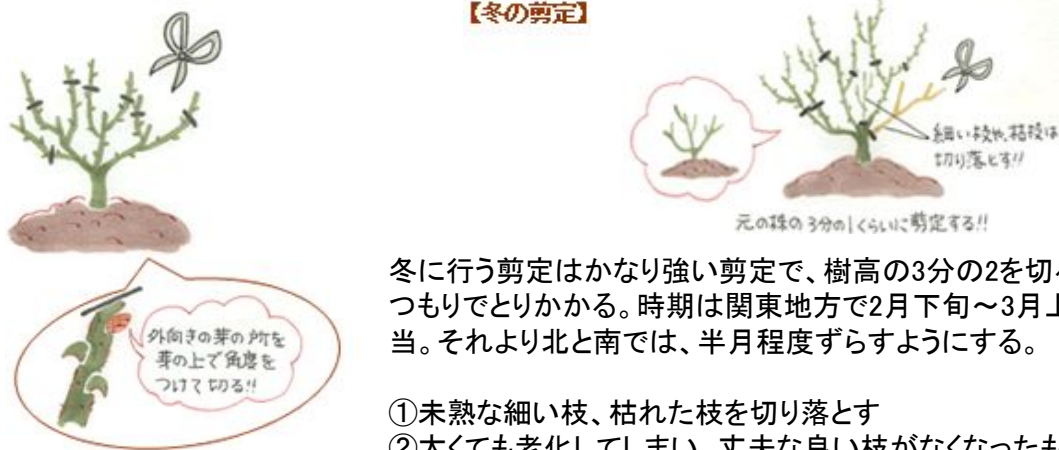
やや高めに植え、敷きワラで乾燥を防ぎます。

【花後の切り戻し】

日当たりと水はけが良い粘質土に植える

花の下に5枚葉を2~3枚つけて、5枚葉の上の所で切る

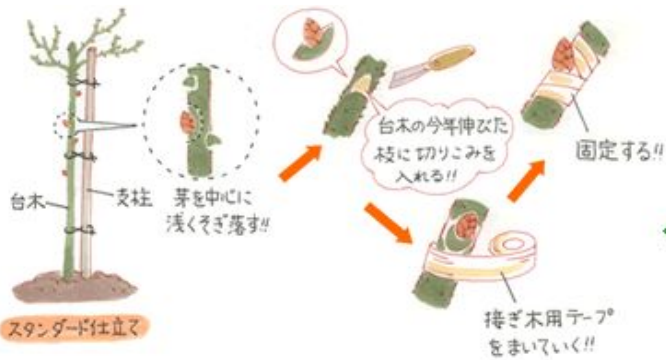
●整枝・剪定のやり方



冬に行う剪定はかなり強い剪定で、樹高の3分の2を切るようなつもりでとりかかるといい。時期は関東地方で2月下旬～3月上旬が適当。それより北と南では、半月程度ずらすようにする。

- ①未熟な細い枝、枯れた枝を切り落とす
- ②太くても老化してしまい、丈夫な良い枝がなくなったものを切る
- ③春になって伸びてきた枝を、その伸びた元から15cmほどのところを切る。切り方は、下部の外側に向いている芽の上部5mmほどのところを45度の角度をつけて切る。下部の根元から出ている新しいシュートは絶対に切らないことがポイント。

●接ぎ木のやり方



スタンダード仕立てのように茎の上の方に花を咲かせたい時などに行うやり方。1～2m以上の高さのノバラを台木として、芽を接ぎます。適期は芽が充実する7～9月。

◆挿し木での増やし方◆



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況					花期			花期				
置き場所	屋外または屋内の日光のよい場所		屋外の日光のよい場所			屋外の半日陰		屋外の日光のよい場所			屋外または屋内の日光のよい場所	
水やり	表土がかかれば与える(3～5日に1回)		表土がかかれば与える(1日に1回)			表土がかかれば与える(1日に2回)		表土がかかれば与える(1日に1回)			3～5日に1回	
肥料	完熟堆肥と鶏糞を根元に埋め込む		油かすと化成肥料を等量混ぜたものを根元に2～3握りばらまく			油かすと化成肥料を等量混ぜたものを根元に2～3握りばらまく			油かすと化成肥料を等量混ぜたものを根元に2～3握りばらまく			
作業	植えつけ		整枝・剪定			切り戻し		春の開花後は切り戻すと2度目の花が咲く。花後は花がらは摘み取る。				
	植え替え(鉢植え)											